

ヴェルヌ 『神秘の島』 第3部の メモ

takaidos

ジュール・ヴェルヌ(1828-1905)。
1874年(ヴェルヌ46歳)発行。

大友徳明・訳。
2004年発行。偕成社。

接近して来た船は海賊船と化したイギリス船籍のスピーディ号だった。
エアトンの共犯で脱獄囚ボブ・ハービー率いる50人の海賊がリンカーン島に接近して来たのだった。
一行は銃で迎え撃つが大砲の前に危機を迎える。

しかし海賊船は突然船底で爆発を起こし、上陸した6人の海賊たちを残して沈没してしまう。
これまで一行を助けてくれた島の審判者が助けてくれたのか？

困り場向かったエアトンが行方不明になり、見晴らし台に作った風車や小屋も海賊たちに焼かれてしまう。
一行は海賊退治と島の審判者に会うために島を再び探検する。
そして3ヶ月監禁されていたエアトンと、殺されている海賊たちを発見する。

一行は審判者を見つけられないでいたが島での生活も4年目になろうしつつある日、審判者から電信で呼ばれる。
海底の地下聖堂を降りた先に待っていたのは、有名な潜水艦とその船長だった。
一行はあとを頼まれるが、リンカーン島は最期を迎えつつあった。

—————
残念なこと3つだけど、あと味爽やかな名作です。
★★★★★

残念なこと3つ。
(1)有名な潜水艦と船長が永眠してしまうこと。
(2)リンカーン島が終わってしまうこと。
(3)前二作も含めて日付関係が非常に間違えていること。

<目次>

<登場人物>

サイラス・スミス:技師。北軍の鉄道管理指揮者。45歳。マサチュ

ーセッツ州出身。手先が器用。Cyrus Smith(英訳でCyrus Hardingのものもある)。

ジェデオン・スピレット:新聞記者。ニューヨーク・ヘラルド紙の戦場特派員。40歳。片手にピストル、片手にノート。Gideon Spillett.

ナブコドノソール:ナブ。黒人でサイラスの元召使い。Neb. Nebuchadnezzar.

ペンクロフ:世界中を渡り歩いて来た水夫。35~40歳。ハーバードの父親・船長に雇われていた。Pencroft.

ハーバート・ブラウン:15歳。船長の息子。孤児。Herbert Brown. 博物学。

トップ:サイラスの忠犬。

ジュップ:体長2mの若いオランウータン。召使いとなる。

エアトン:グレナヴァン卿のダンカン号を奪い損ね、12年間タボル島にひとりで暮らしていたイギリス人。改心してサイラスたち開拓者の仲間を迎えられる。

ボブ・ハービー:イギリスの凶悪な脱獄囚。エアトンとオーストラリアで共犯だった。

<あらすじ>

1867年。

10月17日。

島に接近したブリッグ船(帆船)スピーディー号は黒旗を掲げ大砲も持っていた。

10月18日夜。

エアトンは相手の人数などを見て来ると言ってひとり2kmを泳いで船に潜入した。

船はノーフォーク島で強奪されたもので大砲4門と50人の脱獄囚が乗っていた。

船長はかつての仲間ボブ・ハービーだった。

エアトンは火薬庫を爆破しようとするがボブに見つかり、海に飛び込んで逃げて来た。

10月19日。

朝。

霧の中を一同は海賊の侵入に備えて展開。

ついに戦闘開始。

ブリッグ船も小島と海岸の間に入って来て大砲を撃ち始め形勢が不利になる。

しかしその時、海賊船は突如爆沈。
上陸していた6人の海賊以外、みんな死んでしまった。

干潮のときに海賊船に積載されている物資、大砲を運び上げた。
10月23～24日。
海賊船は波で完全に壊される。

10月30日。
ナブ、大きな鉄の破片を発見。
サイラスは「機雷だ」と断定する。
海賊船は機雷で沈没したのだった。

11月08日。
海賊船から回収した四門の大砲の試射。
砲弾は6km半も飛ぶことが分かった。
逃げた6人の海賊については相手が攻撃して来たら対抗することにする。
そして一行は自分たちを助け続けてくれている謎の人物を探すことにする。

11月11日。
囲い場に行ったエアトンから通信で返信が無くなり、2日経っても戻って来なかったため、ナブをグラニット・ハウスに残して囲い場に偵察に行く。
すると囲い場の中からハーバートが撃たれてしまう。
サイラスは海賊をひとり倒してエアトンの部屋にハーバートを寝かせる。
忠犬トップに手紙をもたせてナブに警戒するように知らせる。
エアトンも行方不明になってしまった。

11月29日。
一行は囲い場でハーバートの回復を待つが、ジュップがナブからの急報を持ってやって来る。
海賊たちが見晴らし台に侵入して来たという。

荷車にハーバートを乗せてオナガーに引かせて戻ると、海賊たちは風車小屋や家畜飼育場を焼き払ったあとだった。
ハーバートをグラニット・ハウスに運び上げるが、合併症とマラリア熱が起きて衰弱して行く。

12月09日深夜、テーブルの上にマラリアの特効薬・硫酸キニーネがひと箱置かれていた。
それを飲んだハーバートは徐々に回復する。

1868年。
1月後半。
ハーバート、起きて歩けるようになる。

2月15日。
グラニット・ハウスに海賊たちが侵入できないようにエレベーターもハシゴも使えないようにして、一行はトップもジュップも伴って極西の森に行く。
島の恩人と海賊たちを探して一掃する事が目的だった。

植物:木生シダ、イナゴマメ、カウリマツ。
野鳥:エミュー。

2月18日。
滝の川の川口まで偵察に行く。

2月19日。
夜、囲い場に海賊たちが居ないか偵察。
小屋で衰弱して気を失っているエアトンを発見する。
エアトンは連中がやって来る！と言うが、小川に行ってみると5人の海賊たちがみんな死んでいたのだった。
海賊たちに囚われて3ヶ月あまり洞窟で監禁されたエアトンを助け、海賊たちを殺したのは島の審判者に違いない。
一行は次の課題、タボル島に戻って来るかもしれないダンカン号にむけて、エアトンの居場所がここリンカーン島に移ったというメモを残す事について話し合う。
エアトンはボナドヴェンチャー号は海賊たちが壊してしまったという。

2月25日。
島の恩人はフランクリン山周辺にも見つからず一行はグラニット・ハウスに一旦戻る。

3月25日。
一行が島に来て3周年の記念日を祝った。
海賊たちに荒らされた風車や小屋、電線を修復して行く。

5月15日。
200トン~300トンの船の建造開始。
長さ35mのコナラの木を竜骨(キール)とする。船梁(ビーム)8m。

6月。冬。
グラニット・ハウスに閉じこもる日々が多くなる。
6~8月の平均気温はマイナス13.33℃。

9月07日。

フランクリン山の山頂に噴煙が上がるのを見る。

水力製材所を作り、薄板や厚板を作る効率が上がった。

10月15日夜。

グラニット・ハウスに電信が入る。

島の謎の人物からだった。

一行は困い場に赴き、さらに新しい電線をたどって南西の海岸に降り地下聖堂を発見する。

そして地下聖堂内をボートで進んだ先に潜水艦を発見したのであった。

潜水艦に入ったサイラスとジェデオンはそこに横たわっている人物がネモ船長であることに気づく。

ネモ船長は自身のことについて語る。

そしてサイラスたちに自分が死んだあとの処理を頼んだのであった。

。

ネモ船長の話(計算上の推定含む)

「1822年、藩王国(イギリス統治下のインド)の王子、として誕生。

1832年、ヨーロッパに送られて教育を受ける。

1849年、インド・ブンデルガンド州に戻る。貴族の女性と結婚し2人の子供を得る。

1857年、セポイ反乱(インド独立運動)が起こり先頭になって戦う。

しかし両親、妻子が捕まって殺される。

20名の者といっしょに太平洋の島に行き潜水艦ノーチラス号を建造。

1866年、フランス人教授と召使い、カナダ人漁師がノーチラス号に転がり込んで来た。

1867年6月22日、3人はノーチラス号を脱出。

1868年今に至る。仲間たちが次々と死んで行き6年前から航海をやめてこの島で暮らし始める。

」

10月16日。

ネモ船長、サイラスだけに何かを言付ける。

ノーチラス号ネモ船長・インドの国民的英雄ティプー・サーヒブ

(1750~1799)の甥ダカール王子(66)、永眠。

ネモ船長の遺言どおり、ノーチラス号に蓋を注水してノーチラス号の強力なライトが海底に沈んで行くのを見送る。

この場所を『ダカール地下聖堂』と名付ける。

新しい船の建造を急ぐ。

1869年。

1月。

フランクリン山、黒雲を吹き上げ火山活動が活発になる。

1月07日、エアトンとサイラスが罫い場に向かう。

そして2人はダカール地下聖堂に入り火山活動の状況をさぐる。

船の建造速度を上げる。

1月23～24日。

溶岩で山頂部が崩れ落ちる。

罫い場の柵を開けて動物たちを逃す。

極西の森、キリハシの森、赤い小川、ツクシガモの沼が徐々に溶岩で焼失。

グラント湖の北部も溶岩で埋まった。

3月8～9日。

船の進水前にリンカーン島が爆発。

ジュップは死に、一行は残された岩場で死を待つ。

3月24日。

ロバート・グラント船長率いる『ダンカン』号が来て一行は助けられる。

ロバートがタボル島に行くと小屋に、エアトンと5人の漂流者がリンカーン島にいるという書き置きがあったという。

ネモ船長だった。

一時的にボナドヴェンチャー号が気球港から無くなったときにネモ船長がタボル島に行って手紙を置いておいてくれたのだった。

一行はアメリカに送ってもらい、ネモ船長からもらった財宝でアイオワ州に土地を買い、またみんなで土地を開拓しリンカーン島と同じように各地名前を付けたのだった。

グレナヴァン卿夫人には中でも一番美しい宝石が贈られ、夫妻は何度もこの開拓地訪れたのだった。

<メモ>

☒☒音速

大砲の火が見えてから音が到達するまで6秒→2km。

☒☒南半球と北半球

・太平洋の南海域では北部より低緯度で流氷に出くわす。

・夏の間は太陽は南半球のほうに近づくこと(近日点)になるが、逆に冬のあいだは北半球より遠ざかってしまう(遠日点)。

☒☒水力製材所。

滝の水と、一つの車輪と二つの円筒と滑車。

ノコギリの動作は垂直方向と水平方向。